学校番号	３０４

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校世界史　世界史Ｂ　改訂版（山川出版）						
副教材等	世界史のパビリオン（とうほう）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じる。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・諸資料に親しみ、歴史的思考を養う。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を理解し、日本とのかかわりをとらえる。

２　学習の到達目標

世界の歴史の大きな枠組みと流れを日本の歴史と関連づけながら理解させ、文化の多様性と現代社会の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を養い、国際社会に主体的に生きる者としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと流れに関心と課題意識を高め、学習活動を通して、世界の諸地域の歴史や文化、その交流について自ら積極的に学ぶ姿勢を養う。	世界の諸地域特有な民族・風土・文化を自ら考察することによって理解を深め、過去から現在へと継続する歴史過程を適切に洞察する能力を身につける。	世界の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追求する方法を身につけるとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現する。	歴史的な事象を、各地域の歴史である縦軸と、その伝播・交流である横軸との交錯によるものとして捉え、全ての要素により世界史が成り立っていることを理解する。
評価方法	発問評価 課題提出 ワークシート 定期考査	発問評価 課題提出 ワークシート 定期考査	発問評価 ワークシート 定期考査	発問評価 課題提出 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	内陸アジア世界・東アジア世界の展開・	第Ⅱ部　第6章 ・トルコ化とイスラーム化の進展 ・東アジア諸地域の自立化 ・モンゴルの大帝国 ・トルコ・イラン世界の展開	○ ○ ○	○ ○	○ ○	 ○	a：トルコ人のイスラーム化の世界史的影響について関心を持って学習しようとしている。 b：東アジア文化圏の統合力の変化という視点から考察し、文章にまとめる。 c：諸民族の文字や社会・文化の特色を示す写真・図版を活用する。 d：東アジア世界がもたらした諸地域世界への影響について基本的な知識を身につけている。	ワークシート 課題提出 定期考査
	アジア諸地域の繁栄	第Ⅲ部　第7章 ・東アジア世界の動向 ・清代の中国と隣接地域 ・トルコ・イラン世界の展開 ・ムガル帝国の興隆	 ○ ○		○	 ○ ○ ○	a：東アジア諸地域世界の社会や文化に興味・関心を高める。 b：明や清が確立した諸制度を理解し適切に表現している。 c：学習内容の地図・図版を適切に活用し、読み取ることができる。 d：清朝の中国統治やイスラーム帝国の強大な皇帝権・官僚制、ヨーロッパ世界との関わりに関する知識を身につけている。	ワークシート 課題提出 定期考査
	近大ヨーロッパ世界の形成	第8章 ・ヨーロッパ世界の拡大 ・ルネサンス ・宗教改革 ・ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成	 ○ ○	 ○	○ ○	○ ○	a：西欧の拡大・ルネサンス・宗教改革・主権国家の形成を意欲的に学び関心を高める。 b：学習内容について考察し世界の拡大や背景を適切に表現できる。 c：学習内容の地図・図版を適切に活用し、読み取ることができる d：近世ヨーロッパの形成を理解し、その知識を身につけている。	ワークシート 課題提出 定期考査

2学期	近世ヨーロッパ世界の展開	第 9 章 ・重農主義と啓蒙専制主義 ・ヨーロッパ諸国の海外進出 ・17～18 世紀ヨーロッパの文化と社会	○	○	 ○ ○	○ ○ ○	a:英・仏を中心とした国家間の抗争や植民地をめぐる西欧諸国の抗争に関心を高める。 b: :学習内容について考察し世界の拡大や背景を適切に表現できる。 c: 学習内容の地図・図版を適切に活用し、読み取ることができる d:近世ヨーロッパの発展を理解し、その知識を身につけている	ワークシート 課題提出 定期考査
	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	第10章 ・産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命とナポレオン	 ○	○	○ ○	○ ○ ○	a:フランス革命の背景。ナポレオンの政策と革命の継承点について関心を高める。 b:資本主義体制の確立と社会の変容について考察し文章にまとめる。 c:「独立宣言」の抜粋などの資料や産業革命期の地図や図版などの書資料を適切に活用し、内容を読み取ることができる。 d:資本主義体制の確立、独立戦争と合衆国憲法の特徴、フランス革命が起こった社会構造と皇帝ナポレオンが登場する背景について基本的な知識を身につけている。	ワークシート 課題提出 定期考査
	近代国民国家の発展	第 11 章 ・ウィーン体制 ・ヨーロッパの再編 ・南北アメリカの発展 ・19 世紀欧米の文化	○	○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○	ａウィーン体制の成立、クリミア戦争以降のヨーロッパでの国民国家の形成、南北戦争の背景に関心を持つ。 ｂイタリア・ドイツの統一を日本の明治維新と比較しながら文書にまとめる。 ｃヨーロッパ・ラテンアメリカの地図や19 世紀の欧米の美術作品の図版・都市文明の写真などを活用する。 ｄヨーロッパでの自由主義や民主主義的な改革の動向、国民国家形成期の基本的な知識を身につけている。	ワークシート 課題提出 定期考査

	アジア諸地域の動揺 帝国主義とアジアの民族運動	第 12 章 ・西アジアの変容 ・南アジア・東南アジアの植民地化 ・東アジアの激動 第Ⅳ部　第 13 章 ・帝国主義と列強対立 ・世界分割 ・アジア諸地域の改革と民族運動	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○	ａムガル帝国の解体、東南アジアの植民地化、アヘン・アロー戦争以降の清朝の解体と東アジアの国際秩序の再編、欧米列強が植民地獲得をくりひろげた結果の列強の二極分化が進んでいくことに関心を持って学習しようとしている。 ｂ太平天国の動乱とアヘン戦争後の社会不安、帝国主義の拡大とアジア諸地域での民族意識の目覚めを考察し、文章にまとめさせる。 ｃアフリカ、東アジアの列強の勢力圏をあらわす地図や図版を適切に活用している。 ｄ欧米列強のアジア、アフリカ、太平洋地域における勢力圏拡大競争に関する知識を身につける。	ワークシート 課題提出 定期考査
3学期	二つの世界大戦	第 14 章 ・第一次世界大戦とロシア革命 ・ヴェルサイユ体制 ・世界恐慌とファシズム諸国の侵略 ・第二次世界大戦 第 15 章 ・戦後世界秩序の形成と東アジア諸地域の独立 ・米ソ冷戦の激化と日本の経済復興 ・第三世界の台頭	 ○ ○ ○	 ○	 ○	 ○ ○ ○ ○	a第一次世界大戦簿勃発の経緯、ソ連邦成立に至る経緯とファシズムの台頭、第二次世界大戦に至る経緯と核兵器などの被害を関心を持って学習しようとしている。 bベルサイユ・ワシントン両体制のもたらした緊張関係や矛盾を文章や表にまとめる。 cドイツ・ベルリンの分割図、冷戦時代の諸同盟国、アジア諸地域の独立を示す地図や図版を適切に活用している。 d世界恐慌の影響と欧米の対応やファシズム諸国の攻勢、戦後の国際連合を柱とした世界秩序の形成とヨーロッパの東西分断、アジア諸地域の独立など基本的な知識を見につけている。	ワークシート 課題提出 定期考査